

シリアにフランス軍が到着

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 02:21)

© AFP 2016/ Stephane De Sakutin <http://bit.ly/1Xd8fbf>

フランス軍特殊部隊がシリア北部に送られ、テロ組織ダークイシュ（I S）と戦う反政府勢力の指導に着手した。

この作戦の主な目的は、テロリストと戦う地元軍隊を訓練することだという。地元軍は武器や空からのサポートを受けるほか、軍事演習も実施される。

フランス国防省のジル・ヤロン氏によれば、特殊部隊の作戦のため、これ以上の詳細は明かせない、という。

<http://bit.ly/1YdlmZh>

ペンタゴン：ロシアは 60 時間でバルト諸国を占領する

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 06:47)

© AFP 2016/ Sergey Venyavsky <http://bit.ly/250ySsa>

米国防総省のマイケル・カーペンター次官補は、ロシアと米国の中で武力紛争が発生した場合、ロシア軍は 60 時間もかからず N A T O 軍の防衛を突破し、タリンとリガを制圧する、と述べた。ウィークリースタンドアードの報道をポータル「ルースカヤ・ヴェスナ」が伝えた。

この言葉を分析センターランド・コーポレーションが 2 月に行った調査も裏付けている。センターの専門家はその報告書の中で、N A T O は脆弱なメンバー国を保護できるような防衛能力を持っていない、と記した。「ロシアがバルト諸国に対する侵略を決定した場合、明らかに、距離と時間の面でロシアが優位性を持つことになる」とカーペンター氏。

<http://bit.ly/10fz4J2>

日本の財界大型代表团 東方経済フォーラム 2016 に参加の見込み

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 15:06)

© Sputnik/ Aleksander Kryazhev <http://bit.ly/1MROZ8F>

日本の財界の大型代表团が、ロシア極東の港町ウラジオストクで 9 月 2 ～ 3 の両日開かれる東方経済フォーラムに参加する意向だ。経団連の日ロ経済委員会の朝田照男委員長が、アレクセイ・ウ

リュカエフ経済発展省との会談後、明らかにした。

朝田委員長は「ソチで5月6日に行われた首脳会談の中で、安倍首相は、ウラジオストクでのフォーラムに招かれた。日本の財界の大勢の代表らも、このフォーラムに参加するつもりだ」と述べた。一方、ウリュカエフ経済発展相は「ロシアと日本には、古くからのつながりがある」と指摘し、次のように続けた—

「私は、日本の尊敬する友人の方々を、経済のみならず、ロ日間の友好と協力に対する投資家だと見ている。日本企業はすでに、ロシア経済の多くの部門、具体的には『サハリン-1』や『サハリン-2』、ヤマル液化天然ガスプロジェクト、さらには電子機器や航空機製造分野で活動を始めている。」

<http://bit.ly/25SGoyH>

オバマ大統領 アフガン駐留米軍の全権拡大を容認

(スプートニク 2016年06月10日 15:27)

© AFP 2016/ Brendan Smialowski <http://bit.ly/1NDBmun>

米国のオバマ大統領は、アフガニスタンに駐留する米軍人の全権拡大の可能性を規定するイニシアチブを容認した。ロイター通信が伝えた。米国防総省スポークスマンによれば、新しい大統領令により、米軍は、空中からの火器支援を含め、米空軍をこれまでより幅広く利用できるようになる。1994年アフガニスタンに生まれたイスラム運動体「タリバン」は、およそ1年前、同国の主要都市奪取を図り、積極的な戦いを展開した。

<http://bit.ly/28qT95N>

日本当局「ロシアの軍艦が尖閣付近に現れたのは偶然」と説明

(スプートニク 2016年06月10日 15:47)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <http://bit.ly/1UHQVHQ>

ロシア海軍と中国の軍艦が、日中間で領有権をめぐり対立している尖閣（中国名：釣台；ジャオユイダオ）諸島水域に同時に現れたことは、日中間であらかじめ打ち合わせをしたものではない。NHKテレビは、日本政府筋の情報を引用して、伝えた。それによれば、ロシアの軍艦が、係争中の水域付近を航行したのは、ほかの場所での任務を果たした後で、母港に戻る単に途中だったとのことだ。ある消息筋は「この行為が、中国との合意の上なされたとみなすべきではない」と指摘している。

日本外務省によれば、日本は、水曜から木曜にかけての深夜、中国の艦艇が尖閣諸島周辺の接続

水域内に一時入った問題に関し、中国に抗議した。同じ海域には、ロシアの複数の軍艦も航行中だった。なおロシアの艦船は、水曜日の 09 時 50 分ごろ、先に同水域内に入り、木曜日の 03 時 05 分に水域を去った。

<http://bit.ly/1UHQHjV>

北朝鮮 韓国に南北統一を提案

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 16:49)

© AP Photo/ Korea Pool <http://bit.ly/1XePB2D>

朝鮮民主主義人民共和国当局は、韓国政府に対し「相互的基盤に基づいて、和解と統一に向けた道を開くための総合的措置をとるよう」提案した。

この提案は、北朝鮮の政府、政党、社会団体による共同会議で承認されたメッセージの中で述べられているもので、その内容は金曜日、新聞「ノドン・シンムン（労働新聞）」紙上で公表された。

メッセージの中では「南北統一は、二つの異なった社会体制とイデオロギーの存在を念頭に置いた理性的で公正な連邦という原則の上に立つて」のみ実現可能だと、指摘されている。

そうした課題の実現のために北朝鮮は、韓国に対し「対決姿勢と敵意を捨て、外国の力に依存するのを止め、南北関係改善のための好ましい雰囲気を作り出す」よう求めている。

これに関連して北朝鮮当局は、韓国政府に対し、8 月 15 日の朝鮮解放 71 周年に合わせて再統一を支持する共同行事を行うことを提案した。また北朝鮮は、韓国側に対し、安定的な平和達成のため韓国からの米軍撤退を成し遂げるため、反米運動を展開するよう求めている。

<http://bit.ly/1tnAnws>

日本 米印海軍合同演習に参加

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 17:23)

© AP Photo/ Arun Sankar K. <http://bit.ly/22Z1Enl>

日本は、金曜日に長崎県佐世保港沖で始まる米国とインドの大規模合同演習「マラバル 16」に参加する。演習の第一段階は、佐世保沖で 13 日まで、14 日から 17 日までの第二段階は、沖縄で行われる。なお沖縄には、在日米軍施設の 74%が存在し、在日米軍人の半分以上が任務についている。

日本の海上自衛隊によれば、日本政府は演習に、ヘリコプター搭載護衛艦「ひゅうが」、対潜哨

戒機 P-3C Orion、そして日本がインドへの売却を希望している水陸両用機 ShinMaywa US-2i を派遣する。

合同演習「マラバル 16」は、明らかに中国の積極的な軍事行動に向けられ、東シナ海における係争中の島々の近くで行われるが、中国外務省は「演習が、地域の安定と安全、平和に寄与するものとなるよう期待する」の声明を出すにとどめている。

<http://bit.ly/22Zlyfm>

マスコミ報道「ダーイシュ（IS）」の頭目バグダディ負傷

（スプートニク 2016 年 06 月 10 日 19:00）

© East News/ Balkis Press <http://bit.ly/1HUxlqB>

テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の頭目、アブ・バクル・アル＝バグダディ（アラビア語表記から）とグループの一連の指揮官らは、イラク・シリア国境地域で展開されている国際有志連合軍による空爆の結果、負傷した。アラブ諸国の複数のマスコミが伝えた。

<http://bit.ly/1U09jto>

オーストラリア諜報機関、ロシアとの協力を模索

（スプートニク 2016 年 06 月 10 日 19:14 アンドレイ・イワノフ）

© AP Photo/ Ed Wray <http://bit.ly/1YixCrK>

オーストラリアは経済における中国依存、安全保障における米国依存を望まず、ゆえに、ロシアとの協力を強化する方法を探している。ロシアのイーゴリ・イワノフ元外務大臣が議長を務めるロシアの国際問題評議会の招きで、最近モスクワを訪問した元オーストラリア諜報将校らが述べた。

代表団のメンバーの中にはオーストラリア軍事情報局長・オーストラリア国防次官を勤めたオーストラリア国立大学（ANU）戦略防衛研究センター名誉会長にして名誉教授ポール・ディップ氏がいた。ロシアのリベラル系ラジオ「モスクワのこだま」とのインタビューで、彼は、オーストラリアはオーストラリアの市民数十人が死亡した2014年の夏の悲劇の原因に関しロシアと異なる見解を持っていること、クリミアのロシアへの返還、ドンバスにおける事象におけるロシアの役割をきわめて否定的に見ていること、を明らかにした。しかも米国の反ロシア制裁を支持しているオーストラリアとロシアは、それにもかかわらず協力のポイントを探すべきだ、と同氏は言う。

モスクワ国立国際関係大学での会議で、ロシアとの協力発展に寄せるオーストラリアの関心の高まりの理由のいくつかについて、オーストラリアの専門家代表団長でオーストラリア国立大学国際

政治・戦略研究スクールの学長マイケル・ウェズリー氏が述べた。専門家として会議に出席したスポーツニク記者が「先日日本が直面したような、米国と中国の間の選択という問題に、オーストラリアは直面しているか」と聞いたところ、ウェズリー氏次のように述べた。

「オーストラリアは、地域の他の多くの国と同様に、非常に重要で深い経済関係を中国と持っている。しかし、同時に、安保分野において、米国と非常に密接な関係を有している。同時に、オーストラリアは中国に経済的に依存しすぎたり、米国に安全保障面で依存しすぎたりしたくはなく、これら2つの重要な分野での協力を多角化しようとしている。オーストラリアはおそらく、中国とかなり高度な安全保障協力を既に持っている唯一の西側国家であり、特に、我々は中国との合同演習を多年にわたり実施している。我々は経済および防衛上の利害の対立を避けたく、我々はそれに懸命に取り組んでいる。さらには、今後時間をかけて、ロシアをそこに含めることによって我々の経済、防衛協力の多角化を進めたいと考えている。」

代表団メンバーのオーストラリア国立大学ヨーロッパ研究センター客員教授カイ・ウィルソン氏は、ここ数年のロシアへの関心の高まりを、ロシアの東部地域の開発が成功していることで説明している。オーストラリアはこのプロセスに参加し、そこから経済的利益を得たいと考えている。

オーストラリアはまた、米国の推進する環太平洋パートナーシッププロジェクトでの協力に対しても、実践的なアプローチをとっている、とマイケル・ウェズリー氏は述べている。

「私たちは、TPPは非常に重要な合意であると考えているが、我々は、これが完全な合意であるなどという幻想を持ってはいない。中国という、私たちの主導的な経済パートナーが含まれていないので、完璧ではありえないのである。我々はTPP合意のメンバーであることに満足してはいるものの、これがゲームの一部に過ぎないことは理解している。オーストラリア人はアメリカ人とは非常に異なっている。中国はアジア太平洋地域に自由貿易圏を創設することを提案し、アメリカ人は反対しているが、我々は中国を支持した。そして、我々は、経済ブロックと政治的競争における合意を利用することはオーストラリアの国益に叶わない、と米国に通告した。我々は、自由貿易および投資に関する合意は開かれたものであるべきだという立場だ。」

<http://bit.ly/1YfRzPx>

欧州連合軍最高司令部の元最高司令官が対露関係の構築を呼びかけ

(スポーツニク 2016年06月10日 19:51)

© AP Photo/ Charles Dharapak <http://bit.ly/1XeR20D>

欧州連合軍最高司令部の元最高司令官を務めた米国人のフィリップ・ブリドラフ氏は、NATO諸国は、ロシアとの関係で今後の緊張エスカレートを回避するため、ロシアとの常設の連絡チャンネルを持つ必要性を訴えた。ブリドラフ氏はこの声明を欧州・大西洋パートナーシップ理事会で演

説した中でこう述べた。

ブリドラフ氏は「私はロシアとのクオリティーの高い関係構築を時折持つのではなく、ある一定の形で持ちはじめねばならないと思う」と語っている。ブリドラフ氏は米国大統領選挙によって新米大統領府にはロシアと白紙から関係を構築しなおすチャンスがひらけると指摘した。

<http://bit.ly/1UHSDsG>

対露制裁、あとは半年は延長、マスコミ情報

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 20:15)

© Sputnik/ Vladimir Sergeev <http://bit.ly/1mhAbuU>

対露制裁について E U は、複数の加盟国が柔軟化の必要性が挙げられているにもかかわらず、これをあと半年はを延長する構え。フィナンシャルタイムズ紙が報じた。

同紙によれば、外交官らからはこの先の 2 週間、イタリア、ハンガリー、ギリシャといった制裁に反対する諸国とポーランド、バルト諸国など制裁支持国との間で激しい議論が戦わされることになるとの危惧感が表されていた。

制裁解除問題は結果として 12 月の E U 加盟国首脳会合までの半年間、延期されることに落ち着く様相。これは「係争問題について平和的解決」を望む諸国からの提案によるもの。

<http://bit.ly/1UIjrpV>

独副首相、ロシアを早く G 8 に戻すよう呼びかけ

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 21:04)

© AP Photo/ Michael Sohn <http://bit.ly/1OHELck>

ガブリエル独副首相は、ロシアを即刻 G 7 に戻し、G 8 を復活させるよう呼びかけた。ガブリエル副首相はドイツ社会民主党の党首。

ガブリエル独首相は Russlandkontrovers.de からのインタビューに、「ロシアは重要なグローバル・プレーヤーであり、単なる地域的なパワーではない。だからこそ私はこのグループにロシアを戻し、G 7 を再度 G 8 に戻そうと呼びかける」と答えている。この声明はサイト上の独露フォーラムに掲載された。

ガブリエル副首相はロシアと独の経済パートナーシップの重要性を強調し、この関係は今ある間

題や意見の相違を抜きにして支援、拡大していかなばならないと語った。ガブリエル副首相のこのインタビューはメルケル首相が対露制裁解除を語るのは時期尚早と語ったわずが数日後に発表されている。

<http://bit.ly/25SKeY0>

米国船籍の黒海を無断航行にロシア外務省が報復策を警告

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 21:29)

© AFP 2016/ Joel Saget <http://bit.ly/25PShJ8>

米国船籍の船が黒海に入ることに對し、ロシア側は報復策を採らざるを得ない。10 日、露外務省全欧州協力課のアンドレイ・ケリン課長はこうした声明を表した。ケリン課長は、「米国船はときおり黒海水域に入っている。これに我々はもちろん承認することはできず、断固とした報復策を取らざるを得ない」と語った。

<http://bit.ly/1XML5sW>

F B I、パキスタンのドローンに関するヒラリー・クリントン氏のメール捜査を開始

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 22:29)

© REUTERS/ Kevin Lamarque <http://bit.ly/1qfFMnD>

米連邦捜査局（F B I）は米務省とパキスタンの米大使館に交わされた機密メールのやりとりの捜査を開始。メールにはパキスタンで急進主義者とされる人物に対し、無人機を使用して攻撃した場合の合法性について描かれている。ウォールストリートジャーナル紙が報じた。

メールがやりとりされたのは 2011～2012 年、ヒラリー・クリントン氏の国務長官時代。ウォールストリートジャーナル紙によれば、メールの一部は、クリントン氏の住まいのあるニューヨーク郊外の無防御のサーバーの彼女個人のメールボックスに残されていた。クリントン氏は次期米大統領選の有力候補者。

F B I はこのメールの根拠を捜査中。事態は深刻な失態や職務規範の故意の違反に及ぶ恐れもある。これより前、米務省はクリントン氏の個人メールボックスから重要機密メールが 22 通見つかった事を明らかにしている。

<http://bit.ly/28qXMg8>

エルドアン氏、わずが2日の訪米日程を1日繰り上げ、理由は…

(スプートニク 2016 年 06 月 10 日 23:42)

© REUTERS/ Lucas Jackson <http://bit.ly/1ZFk9si>

9 日、トルコのエルドアン大統領はモハメド・アリ氏の葬儀に参列するため米国を訪れた。ところが 9～10 日の予定だった訪米が、突如、1 日繰り上げられた。2 日間の滞在予定が急変したのはモハメド・アリ氏の葬儀に参列した直後。急遽の帰国の原因はオバマ米大統領からの一連の拒否に関係することがわかった。

エルドアン氏はイスラム教の習慣に基づいた布でアリ氏の棺を覆いたかったが、これが拒否された。そのほか、アリ氏の亡き骸の前でコーランの祈りを捧げたいというエルドアン氏のたつての希望も受け入れられなかった。

<http://bit.ly/1U5y5N0>

仏軍、シリアで基地建設に着手

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 00:24)

© AFP 2016/ DELIL SOULEIMAN <http://bit.ly/1U1X5i7>

仏軍がシリア北部のコバニ市近郊で基地建設に着手。10 日、クルド人の情報筋がスプートニクに明らかにした。

これまで、仏軍特殊部隊がシリア北部に送られ、テロ組織ダーイシュ（IS）と戦う反政府勢力の指導に着手したと報じられていた。

この作戦の主な目的は、テロリストと戦う地元軍隊を訓練することだという。地元軍は武器や空からのサポートを受けるほか、軍事演習も実施される。

<http://bit.ly/1PQJY8M>

ベルギー、原子炉が事故で稼働停止

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 02:45)

© Wikipedia/ Michielverbeek <http://bit.ly/1tnCLmW>

ベルギーのティアンジュ原子力発電所で事故が発生し、原子炉が急停止した。地元の報道機関が同原発の代表の声明を引用して報じた。現時点では事故正確な原因は不明。現在入っている情報に

よれば、停止は稼動中に原子炉に負荷がかかったことが原因。この事故の結果、放射能漏れは起きていない模様。原発職員にも被害は出ていない。

<http://bit.ly/1YiAfJX>

仏銀行、理由なしにロシア人外交官の口座を閉鎖

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 06:01)

© AP Photo/ Thibault Camus <http://bit.ly/1ZFk9ss>

フランスの銀行「ソシエテ・ジェネラル」が理由を明らかにしないまま、パリ在住のロシア人外交官数人の口座を閉鎖した。外交官の情報筋がスプートニクに明らかにした。

情報筋は「フランス国会の議員らに対露制裁の解除に賛成票を投じている一方で、ソシエテ・ジェネラルは米国サイドの措置を恐れてか、ロシア人の口座にとどまらず、ロシア人外交官の口座まで閉じている。この措置はユネスコに勤務している人間にまで及んでいる。ユネスコといえ内部の人間はみな平等な扱いを受けるはずのところだ。現時点ではこの銀行が他にどんな措置をとるか、全く検討がつかない」と語っている。

ソシエテ・ジェネラル側は一切のコメントを出しておらず、仏外務省も現在この情報を調査中。

<http://bit.ly/1Ub3fR4>

ダゲスタン、日本の投資家代表団を受け入れ

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 07:03)

© Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <http://bit.ly/1ZFknQi>

ダゲスタンの元首ラマザン・アブドゥラチポフ氏が日本から投資ポテンシャルの研究のために到着した代表団と会見した。「今日、投資ポテンシャルと協力の見通しを研究するために田村文彦氏を団長とする日本代表団との会談を開催した。代表団はすでにエネルギー、食品企業、医療機関を訪問した」。アブドゥラチポフ氏がインスタグラムで発表した。また、日本の代表部は、ダゲスタン国立大学と日本の創価大学間の協力に関する協定に署名する予定だという。

instagram.com/ <http://bit.ly/1U5xrjE>

<http://bit.ly/1PkKfLx>

なぜ一部の日本人には「プーチンの愛国心」とロシアの現実が気に入らないのか？

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 08:01 アンドレイ・イワノフ)

© Sputnik/ Sergey Guneev <http://bit.ly/1WhvC3w>

日本のメディアの一部によって読者に押し付けられている現代ロシアに関する不当なイメージが、日本人が独自の長所と欠点を持つ普通の国・ロシアの実像を見ることを妨げている。

私は基本的に産経新聞の大胆さに敬意をもっているが、その産経新聞で先日遠藤良介氏の「プーチン大統領の身勝手な「愛国心」が社会の断絶を深めている」という記事が掲載された。タイトルにあるこの穏やかでない結論を著者は記事の最初の3段落で次のように根拠付けている。

「ご無沙汰していたロシア人の同業者に出くわし、豹変ぶりに驚かされることが少なくない。客観的に物を見るところに思っていた人が、一変してプーチン露政権の盲目的な礼賛者になっている。『政権の対外政策は完全に正しい』と彼らは力説し、特に2014年3月のウクライナ南部クリミア半島併合については全く話がかみ合わない。ウクライナでは14年2月、大規模デモを背景に親露派政権が崩壊し、親欧米派が実権を掌握。プーチン政権は親欧米派を「ファシスト」と称するプロパガンダ（政治宣伝）を展開し、『ロシア系住民の保護』を名目に、独立とロシア編入を問うクリミアの住民投票を後押しした。露軍部隊も派遣して行われた住民投票と併合は、ウクライナの法にも国際合意にも違反していた。しかし、プーチン政権の礼賛者は『クリミアは民意によってロシアに編入されたのだ』とし、『ウクライナに非合法のファシスト政権が発足した以上、内外の法は一切の効力を失ったに等しい』などとまくしたてる。当時の親露派大統領は自ら逃亡し、議会で暫定政権が選出されたのだが、聞く耳は持てないようだ。」

「プーチンのロシア」を批判するほかの多くの日本および西側の記事と同様、本記事で驚かされるのは、確かな観察と、全く不確かな結論が同居していることだ。先入観が正しい結論を出すことを阻んでいる。たとえば、著者の信念では、プーチンの外交政策を支持するすべての人は「プーチンのプロパガンダ」の影響下で客観的現実を評価する能力を失っている。

ところが、ことクリミアに関しては、客観的現実は次のようなものだ。クリミア人の圧倒的多数は一度も自身をウクライナ人であると考えたことがなく、キエフの仕掛ける強制的なウクライナ化に可能な限り抵抗していた。当初、それは、荒々しいものではあれ、相当平和的な手段で行われていた。しかし2014年の初め、ウクライナ各都市の通りにマスクをした暴徒がとびだし、ロシア人を吊るし、斬るよう呼びかけた。その後、この暴徒らの支援を受け、ウクライナの政権に、数万人ものポーランド人、ユダヤ人、ロシア人を殺したヒトラーの協力者らを国民的英雄だと宣言する者たちがついた（もしロシアの政治家、専門家やジャーナリストがこの者たちをナショナリストやファシストと呼ぶなら、それは「プーチンのプロパガンダ」ではなく、悲しむべき真実である）。

キエフの政権に就いたファシストらを見た（繰り返すがプロパガンダの影響ではなく）クリミア市民は、ウクライナ離脱とロシアとの統合に賛成票を投じた。投票は完全に民主的なものだった。ロシアの特殊部隊が高いプロフェッショナリズムを示し、投票プロセスに影響を及ぼさなかった。

彼らは投票の安全確保に専念し、地元の民兵組織の支援を受けて、国家主義武装集団がウクライナから半島に侵入することを防ぎ、クリミアで除隊されたウクライナ軍兵士は駐留地から出さなかった。ところで、ウクライナ軍人の大半はその後、ロシアへの忠誠を誓い、クリミアに残って勤務を続けている。

「クリミアの併合」について西側がプーチンを批判する理由は、民主主義の規範と国際法への違反ではない。西側自身、国益上必要なら、民主主義にも国際法にも唾を吐きつける。批判の理由は、もはやクリミアには米軍基地を絶対に展開できない、という状況にこそある。産経の記者には、ロシアの国家理念が表されているというプーチン大統領の身勝手な「愛国心」も気に入らない。

「その『パトリオティズム』を、「現政権を支持すること」という身勝手な解釈で独り占めしたのはプーチン政権だ。プーチン氏はクリミア併合を宣言した際の演説で、併合を支持する『愛国機運』に謝意を示し、反対する欧米はロシア国内の『第五列』（対敵協力者の意）や『裏切り者』と結託してロシアの弱体化を狙っていると述べた。これ以後、政権に異議を唱えることは『非愛国的』であり「対敵協力」であるとの風潮が増幅される一方だ。」

まず、ロシアの国家理念というものが公式に定められてはいない。それを愛国心と見なすという呼びかけは、単に個人的な意見である。第二に、クリミア住民の意見に唾を吐いてウクライナにクリミアを与え、米軍基地の展開の可能性を開くこと、それこそロシアの弱体化につながる可能性のある、ロシアの国益への裏切りだ。しかし、こうした訴えは、ロシアの国営テレビでも、野党のロシア人やウクライナ人、ヨーロッパ人、アメリカ人政治学者・ジャーナリストの口から話されている。彼らに対するいかなる圧殺もない。この問題に関し、遠藤氏には異なる意見があるようだ。

「クリミアやウクライナの問題で「話ができない」と感じているのは、決して私だけではない。複数の知人がクリミア併合に異論を唱え、友人や親族に罵倒されたという。」

これは罵倒ではない。「台所での議論」だ。時にはそれは、非常に感情的なものとなる。時には叫びや怒号にもなる。こうしたことはソ連時代にも行なわれ、当時は精神の自由の現れであると考えられた。それが今も行われている。しかし、なぜプーチンの政策を受け入れない人は、誰もが彼らに同意すべきであると考えなのか？

次に、「クリミアをめぐるインターネット上の書き込みだけで「過激主義」の罪に問われ、実刑判決を受ける事例も出ている。」とある。

実際の事例について私自身は聞いたことがない。しかし、もしこれが本当であれば、ロシア全国どころか世界的なレベルでの本当のスキャンダルが巻き起こっていただろう。反対派の弁護士たちは眠りこけてはいない。

次に、「プーチン政権の『パトリオティズム』は、自由な思考のできる賢明な人々から本来の愛国心と言葉を奪い、社会の断絶を深めているように思われてならない。」とある。

実際には、すべて反対である。西側およびロシアの反対派のプロパガンダこそ、「自由な思考のできる賢明な人々」は「プーチン政権」を支持できない、なぜならそれが奴隷や無学な役畜の宿命だからだ、との信念を植えつけようとしている。ここにはコメントすることは何もない。

そして最後に次のようにある。「経済の低迷が深刻化し、本来ならば大胆に改革を議論すべき時だ。その道が閉ざされていることの危険性に、政権はいつ気づくだろうか。」

経済の低迷の深刻化については議論の余地がある。制裁と原油価格の下落にもかかわらず、指標は上昇している。が、もちろん、改革は必要だ。しかし、どのような改革か。ロシアの経済学者や政治家は今も議論している。これが全体主義国であれば、とうの昔に議論をやめ、経済的な奇跡を成し遂げていただろう。シンガポール、台湾、韓国のように。どうやらプーチン政権はそれほど全体主義的ではないようだ。遠藤氏はそれが見えているのだろうか？ 彼はロシアで本当は何が起こっているかを理解しているのか？ 記事を見る限り、彼はロシアの現実への理解について問題を抱えているようだ。

<http://bit.ly/1PQN1fI>

フランス上院 EUに對口制裁解除を提案

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 08:27)

© AFP 2016/ Jacques Demarthon <http://bit.ly/1tnEzwd>

フランスの上院議員達は、ハーグで 13～14 両日開かれる EU の欧州問題議会委員会の会議で、対ロシア制裁解除に関する決議を検討するよう提案する。

これは、フランス上院欧州問題委員会のイヴ・ポッツォディボルゴ副委員長が述べたもので、すでにお伝えしたように、8 日、フランス上院は、賛成 302 反対 16 の圧倒的多数で、ロシアに対する制裁体制緩和を求めるアピールを伴う決議を採択している。決議案のイニシアチブをとったポッツォディボルゴ副委員長は、新聞「イズヴェスチヤ」のインタビューに応じた中で「我々は、EU 加盟 28 ヶ国すべての代表が集まる EU の会議に参加し、それぞれの国の議会で、フランスと同様の決議を下すよう提案する」と述べ、次のように続けた—

「上院での投票は、フランスにとって重要で示威的なものだ。我々は、すべての政治勢力の代表者の支持を当てにしていなかった。これは、政府に対する大変強力なシグナルだ。なぜなら上院には、基本的な政党の代表がいるからだ。つまりこの決定は、あらゆるフランス人の意志なのである。」

<http://bit.ly/1RZxJRu>

日本、ブリヤートゴミ処理場建設に 50 億円を拠出へ

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 09:33)

© Fotolia/ Mikhail Markovskiy <http://bit.ly/1UnJoiR>

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社はロシアのブリヤート共和国での最新のごみ焼却場の建設案に独自のガス化溶融システムを提案した。地元マスコミが報じた。ゴミ処理場の総工費は 90 億ルーブル（およそ 150 億円）。しかもその 3 分の 1 を日本側は無償、返済なしの支援金として提供する構え。ゴミ処理場はガス化、溶解技術を用いたもので、ゴミは燃やされガス化する。このプロジェクトでは処理過程で 10 メガワットの電力生産が行なえ、処理で出来るプロダクトによって重合体や鉄合金、ガラスの再生を行なう中小ビジネスの成長を促すことができる。

<http://bit.ly/1YiCg8S>

国連、サウジの送金停止威嚇に負けた

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 10:41)

© REUTERS/ Heinz-Peter Bader <http://bit.ly/1YkB9Wl>

国連のパン事務総長は、サウジアラビアからの送金停止を恐れ、同国に譲歩した事実を認めた。インディペンデント紙が報じた。パン事務総長は「これは最も困難で痛みの伴う決定だった」と語り、サウジアラビアが国連に「許し難い」圧力をかけていた事実を認めた。サウジアラビアはイエメンでのものも含め、戦闘中に児童が死亡した事件でその主犯国リストから自国を削除しない場合、送金を停止するとあからさまに国連に通知した。

児童の死亡事件の主犯国リストからサウジが削除されたことを受け、人権擁護団体「ヒューマン・ライツ・ウォッチ」は憤りを表し、パン事務総長に対して書簡を送ったところ、これに対し事務総長は言い訳として、サウジが人道援助プログラムへの送金を停止した場合、さらに多くの児童が苦しむことになっただろうと語った。

<http://bit.ly/24IMVtB>

シリアの首都ダマスカス近郊で連続テロ 少なくとも 9 人が死亡

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 18:38)

© Sputnik/ Michael Alaeddin <http://bit.ly/1Ut9BZb>

シリアの首都ダマスカス近郊で二度の爆発があり、最新情報によると、少なくとも 9 人が死亡、16 人が負傷した。11 日、シリア国営 TV が伝えた。地元マスコミによると、第一の爆発の爆発物は

車の中に設置されていた。一方、第二の爆発は自爆テロ犯によるものだった。犯行声明はどこからも出されていない。

<http://bit.ly/25UBP74>

米国特殊作戦軍 カラシニコフ銃の国内生産の可能性を検討

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 19:21)

© AFP 2016/ MARTIN BUREAU <http://bit.ly/1NP8jsh>

米国防総省特殊作戦軍（SOCOM）総局は、カラシニコフ銃を含めロシアの銃器の国内生産の可能性を検討している。新聞「The Washington Post」の報道によれば「スタンダードではない」武器や弾丸生産の要請が、特殊作戦軍当局に寄せられたのは今年の 4 月と 5 月だった。当局スポークスマンの説明では「スタンダードでない」というのは、米国やNATOで用いられていない、つまり米国の「外国のパートナー」の軍隊が使用している武器を意味する。また AK-47 の米国バージョンの生産と並んで、特殊作戦総局は、ロシア・モデルによる小型及び大型機関銃の生産についても検討中だ。

<http://bit.ly/25R1fpB>

政治一女性一チャンス：ロシア大統領になるのは女性？

(スプートニク 2016 年 06 月 11 日 19:44 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Alexander Vilf <http://bit.ly/1WYB4XF>

ロシア議会上院・連邦会議のワレンチナ・マトヴィエンコ議長は「ロシア人は将来的に女性が国を率い得ることに精神的な準備ができています」と考えている。マトヴィエンコ議長は、ロシアではこの問題について「地殻変動」が起きたとし、こう強調した。

「ロシアでは、この 20 年で多くの輝かしい、興味深い女性がビジネス界で、銀行で、また、世論形成者、政治家、議員として現れた。それゆえ、今日ロシアでは女性に対して性的特徴によってではなく、プロフェッショナルか、聡明か、教養があるか、役に立つか、によって接される。」

今年 2016 年 4 月 14 日、ウラジーミル・プーチン大統領は「国民との直接対話」の際に、アメリカと渡り合う必要があるロシア大統領に、将来女性もなれるかとの少女の質問に、次のように答えている—

「私たちが考えるべきは、いかにアメリカと渡り合うかではなく、道路や保険、経済といった

国内の問題にいかに対処すべきかだ。もしかすると、女性のみがこのような問題に対処できるのかもしれない。」

2016年3月にロシアの世論調査機関「レバダ・センター」によって公表された調査結果によると、32%のロシア人が、この10～15年の間で、大統領に女性になることに賛成した。しかし調査対象の49%は未だ女性大統領に反対だ。

政界、ビジネス界において女性がより高い地位で活躍できるよう、日本の安倍晋三総理大臣も戦っている。安倍首相によると、出生率が下がり労働力不足リスクが高まっている日本にとって女性は最重要労働力だ。とはいえ、最近の日本の調査によると、日本の民間企業の管理職に占める女性の割合は6%余りしかなく、この割合が伸びていくと答えたそれら会社の社長は21%だけだった。しかし、ここ5年間で日本の女性は主に販売、マスメディア、金融業界において、管理職に急激な進出を果たし、女性管理職は合わせて17%増えた。

日本の司法システムや厳しい製造業では女性の管理職は少ない。それでも、日本でも総理大臣の座に女性がつくかもしれないという話は途切れない。特に、安倍首相の後継者として、衆議院議員、自民党政務調査会長稲田朋美氏を挙げているものもいる。現在、多くの国で高い地位を女性が占めている。その中には韓国、台湾、リトアニア、中央アフリカ共和国などの国がある。

<http://bit.ly/1UcfU6h>

米国防総省、シリアでの友軍への空爆認める

(スプートニク 2016年06月11日 21:05)

© REUTERS/ Abdalrhman Ismail <http://bit.ly/1YiEeW0>

5月末米空軍は、米軍の協力を得ているテログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」に対抗しているシリアの部隊に、誤爆した。マリ市の地域で数人の反体制派戦闘員が死亡したと、米紙ウォールストリートジャーナルは6月10日報じた。

<http://bit.ly/1ZHBzop>

ダマスカスで起きたテロの犠牲者 16人に

(スプートニク 2016年06月11日 22:19)

© AFP 2016/ AMER ALMOHIBANY <http://bit.ly/1VAJD8e>

シリアの首都ダマスカスで起きた二度の自爆テロにより、死者は16人、負傷者は少なくとも46人に増えたと、スプートニク社に現場の病院から伝えられた。6月11日テロが二度発生し、ダーイ

シュ（ＩＳ、イスラム国）が犯行声明を出した。

<http://bit.ly/1tpkoxR>

北朝鮮外務次官「半島の緊張は米国の侵略的政策により呼び起こされた」

（スプートニク 2016 年 06 月 11 日 22:45）

© Sputnik/ Igor Mihalyov <http://bit.ly/21ftAiC>

朝鮮民主主義人民共和国のクン・ソクウン外務次官は、12 日のロシアの日を前にピョンヤンのロシア大使館で催されたレセプションで発言し「朝鮮半島の緊張した情勢は、米国の侵略的な方針により呼び起こされたものだ」と指摘した。クン・ソクウン外務次官は、次のように述べた—

「世界支配達成を目指す戦略実現の枠内で、米当局は、南での軍事プレゼンスを拡大させ、共和国を核兵器で恐喝し脅す政策をとっている。そうした条件下において、共和国は、自らの強大な力に立脚し、経済発展と核潜在力強化の方針を並行して進めながら、半島の平和と安全をしっかりと守るだろう。」

<http://bit.ly/1tjXTKf>

「ダーイシュ（ＩＳ）」シリア軍人に対し子供の自爆犯を差し向ける

（スプートニク 2016 年 06 月 12 日 12:09）

© AP Photo/ Hatem Moussa <http://bit.ly/1MNDrs7>

シリア政府軍は、テログループ「ダーイシュ（ＩＳ、イスラム国）」が主要な拠点としている北部ラッカ県南西部で、子供の自爆犯による攻撃を撃退した。スプートニク通信によれば、5 人の子供のうち 4 人が自爆した。彼らの年齢は 16 歳に達していなかったと見られる。5 人目の子供は、自爆前に拘束することに成功した。彼の年齢は、13 歳だった。

<http://bit.ly/1VSU0Y0>

気の狂ったモスクワ：大都市の代表的な患者 7 タイプ

（スプートニク 2016 年 06 月 12 日 19:55）

© Fotolia/ Anetlanda <http://bit.ly/1Uo8rSS>

社会学者たちによると、精神障害は 21 世紀の主要問題の一つだという。ダリヤ・ヴァルラモワ氏

とアントン・ザイツェフ氏の著書「頭がおかしくなりそうだ！ 大都市の精神障害ガイド」をもとに、大都市モスクワの住民の代表的な精神障害をご紹介しますと思う。

揺れ動く人（双極性障害）

今日はパワーに満ち溢れているが、明日はベッドから起き上がれない。エネルギーが眠気、食欲、性欲に変わる。双極性障害は、自由な生活スタイルで暮らす人や芸術家などに多い。

場の空気が読めない（アスペルガー症候群）

散らかっているのが嫌いですか？棚がきちんと整理整頓されていることにこだわりますか？自発性が足りておらず、他人の思いがけない行動に調子が乱されますか？もしかしたらあなたはアスペルガー症候群かもしれません。アスペルガー症候群は、プログラマーやその他の技術的職業に就いている人に多く見られる。

本物のソシオパス（反社会的人格障害）

主な特徴は、罪悪感、共感、自責の念の欠如。法律や権利のメカニズムを通して関係を構築することができない。反社会的人格障害は、元囚人のほか、弁護士、ブローカー、政治家などの知的職業の人に多い。またトップ経営者、軍関係者や医療関係者などにもみられる。

隠れたゾンビ（大うつ病性障害）

仕事中毒や超責任感がある人々が、重度のうつ病に苦しんでいるのは驚くことではない。しかも彼らは長年にわたって日常が順調であるふりをして、周囲の人たちに気づかれないようにすることができる。

壊れた地震計（全般性不安障害）

全般性不安障害は、例えば会計士などのルーチンワークをしている人たちに最も多くみられる。実際のところ不安の種は存在していない（問題はこじつけ）のに、不幸が訪れそうだという不安を常に抱いている。「病気になるかも」、「クビになるかも」、「恥をかかされるかも」などと、よく考えている。

全てが極端（境界性人格障害）

彼らは定期的になんらかの激しい感情を味わう必要がある。そうでなければ彼らは退屈なのだ。パラシュート降下やエクストリーム体験が彼らにとっては空気のように必要だ。問題は、例えば理想と失望など、相反する感情の狭間で彼らが常に揺れ動いていることだ。

魚のドリー（注意欠陥多動性障害）

アニメーション映画「ファインディング・ニモ」に出てくる魚のドリーのように、注意欠陥多動性障害の人々も危険にさらされている。またこれらの人々は、自分のやるべきことに集中せず、いかにげんだと言われることが多い。

あなたはどのタイプですか？

<http://bit.ly/1tpIAAi>

独占インタビュー：クリミアのポクロンスカヤ検事総長の人柄が明らかになる

(スプートニク 2016 年 06 月 13 日 03:20)

© Sputnik/ Konstantin Mihalchevsky <http://bit.ly/1XQBTUp>

ロシアで5月、クリミアのポクロンスカヤ検事総長がロシアで最も美しい女性に選ばれた。ロシア紙「ロシア・リポーター」は、ポクロンスカヤ氏への独占インタビューを行い、個人的なことについていくつか質問した。

ロシア・リポーター：ロシア人は、あなたをロシアで一番美しい女性に選びました。ロシア人はあなたの本当の姿を知っているのでしょうか？

ポクロンスカヤ氏：もちろんです。私がしていることは全て私を表現しています。

ロシア・リポーター：ウクライナではあなたは裏切り者だと考えられています。これについてどのようにお考えですか？

ポクロンスカヤ氏：私が裏切り者ですか？

ロシア・リポーター：あなたのことをそのように思っているウクライナ人になにを言いたいですか？

ポクロンスカヤ氏：私は彼らに対して、彼ら自身がいま誰を裏切っているか、誰を殺しているか、誰を支持しているか、そして誰をドンバス（ウクライナ南部・東部）へ送っているかを思い出して欲しいとアドバイスしたいです。私はたった一度だけでもいいので、どれだけたくさんの子供たちが母親や父親を失ったり、負傷したのかを思い出して欲しいとアドバイスしたいです。

ロシア・リポーター：あなたの家族は、あなたが大学に入学するために協力してくれましたか？

ポクロンスカヤ氏：私は自分で専門を選びました。9年生の時のことでした。私は法律に関係する全ての科目に夢中になりました。人を助けたいと思いました。正義を求める、というようなもの

です。

ロシア・リポーター：もし自分の見解が原因で死ぬようなことがあったらどうしますか？

ポクロンスカヤ氏：脅迫があったとしても、私はそれを成し遂げるためにすべての事をします。私の敵は自分たちの脅威によって自滅すればいいでしょう。

<http://bit.ly/1YktZB5>

米務省 ロシアについてのジョークに対して支払いへ

(スプートニク 2016 年 06 月 13 日 00:45)

© Fotolia/ Harvest <http://bit.ly/1PntBe9>

米務省は 2016 年 2 月、同国は約 40 億ドルを「ロシアによる侵略」対策につかうと発表した。これはロシアの隣国への軍事・経済支援のみならず、情報活動も意味する。

特にプロパガンダに重点が置かれる。米国はウクライナ人にさらに積極的に英語を教える。また欧米メディアに対するロシア人の信頼度を高めようとし、オピニオンリーダーへの影響力を強化する方法も考える。

さらに米国のプロパガンダに忠実なメディアやインターネット社会は、ロシアの現政権やロシアを笑いものにする記事を伝えている。もちろん無料ではなく、米国からお金を受け取っている。

同計画は、国務省と米連邦政府の放送管理委員会（B B G）の文書で述べられている。

B B Gは、2017 年度の予算案でロシアと中国をテロ組織「ダーイシュ（I S、イスラム国）」と同列に置いている。

<http://bit.ly/1rky0IV>

プーチン大統領「ロシアの日は国の将来への国民の責任を反映」

(スプートニク 2016 年 06 月 13 日 01:44)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://bit.ly/25WchGF>

ロシアの日は国の現在ないし将来へのロシア人の責任を映していると、露大統領ウラジーミル・プーチン氏は声明し、こう述べた。

「この祝日は祖国や愛国心、国民の統一といった非常に重要な価値観を示し、我々のロシアへの真摯で温かい気持ちや、国の現在と将来への我々の責任を現している。」

6月12日、ロシアの日はロシアの国民の祝日だ。ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国が国家主権に関する宣言を採択した6月12日に、1992年から毎年祝われている。

<http://bit.ly/21h2GHj>

「ダーイシュ」は女性のおかげで機能している

(スプートニク 2016年06月13日 06:29)

© Sputnik/ В а л е р и й М е л ь н и к о в <http://bit.ly/1YkvxLz>

米国の学者たちは、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の思想普及では、女性たちが重要な役割を果たしていることを突き止めた。

学者たちは、ロシアのSNSにおける「ダーイシュ」のプロパガンダを分析した。学者たちによると、過激派組織は男性が基盤となっているが、女性はネットワークやメンバーとの関係をより強固に構築できるという。

学者たちはまた「ダーイシュ・コンテンツ」の普及は、米国ではなく、ユーザーのグループを形成できるフェイスブック風の外国語SNSで行なわれていることが多いとの結論に達した。さらに女性はSNSで協力する傾向にあるほか、彼らは友人やフォロワーを増やそうとしないため、SNS運営局の関心から逃れることができるという。

<http://bit.ly/1UdcVdA>

ロマン・キム、ソ連の忍者だった男

(スプートニク 2016年06月13日 09:11 リュドミラ・サーキャン)

写真 1/2 <http://bit.ly/28vKrTU>

『人生は一箱のマッチに似ている。重大に扱うのはばかばかしい。重大に扱わねば危険である』芥川龍之介によるこの警句は、ロマン・キムの人生のエピグラフになりえただろう。

ロマン・キムとは、貴族階級出身の朝鮮系ソビエト人であり、卓越した日本学者、ソ連秘密警察のロシアソ連人民委員会内統合国家政治局の非公式協力者で、スパイ物小説で名を挙げた作家だ。

ロマン・キムについての入手困難な歴史的資料収集と整理の膨大な仕事を行い、彼の紆余曲折の

運命に捧げた本がこのたび、モスクワで出版された。著者のアレクサンドル・クラノフ氏はジャーナリストであり日本学者。クラノフ氏は本を書くきっかけについて、次のように述べている。

「調査のきっかけになったのは、ロマン・キムが貴族階級出身だという情報や、彼の日本での養育者であった、天皇の図書館の管理者であり次期天皇裕仁（昭和天皇）の養育係だった杉浦重剛についての情報や、また、防諜員としての活動だけではない。調査のきっかけは、キムが、日本人以外で忍術について書いた者の一人だったということだ。

キムの伝記は全ての事実が矛盾していて信憑性がないにもかかわらず、同時に説得力があり、二重スパイの技術である忍法「袋返しの術」に似ている。100%確証済みの文書から成り立った、ロマン・キムの伝記をこの本から期待している人は、失望してしまうだろう。

彼の人生と言う布は、文字通りのばらばらの切れ端を手ずから丹念に縫い合わせる必要があった。それは、裏付けのない情報、矛盾する回想、故意か偶然かもつれあった資料といった切れ端だ。

キムは私達の前に朝鮮の愛国者として現れ、ソ連秘密警察のメンバーとして現れ、時には彼の行動の唯一の論理的な説明が日本への諜報活動でしかあり得ない時もある。この本は、ロマン・キムの名に関係する疑問の全てには答えてはいない。だが、将来それらの疑問に答えが出ることを、そしてこの本がそのきっかけになることを願う。」

ロマン・キムは1899年8月1日ウラジオストクで生まれた。彼の両親は迫害を避けウラジオストクに亡命し、そこでロシア国籍を得た。キムの母は朝鮮王朝の凋落した国王高宗の妃、閔妃の遠い親戚に当たり、キムの父は高宗国王の元出納係の一人で、ウラジオストクでは大商人になった。影響力のある日本人の知り合いの助けを得て、キムの父は7歳になる息子キムを日本の名門慶應義塾幼稚舎に送ることができた。

1917年、青年キムはウラジオストクに戻り、極東大学に入学した。当時のロシアは革命と内戦の最中にあったことから、才能があり、日本通でもあったキムは赤軍にも、白軍にも、また外国の特殊部隊にも興味を持たれた。1923年、キムは大学卒業とともにモスクワに移り、東洋学院で日本語と極東の歴史の教師として教鞭をとりはじめた。まさにこの年から、キムの論文『日本のファシズム（日本からの手紙）』や、現代日本の知識階級についての一連の論文が出版されている。続けて世に出始めたのが露訳では初めての芥川龍之介の小説だ。さらに、この時期にはキムはすでにソビエト防諜員の非公式協力者として数えられていた。

興味深いことに、1937年キムは特に価値ある情報と「大使館付き武官の金庫からの機密文書を押収」したことに対し赤星勲章を授与されるが、同年日本側のスパイの疑いで逮捕されている。第2次世界大戦をキムは秘密警察の収容所の中で迎え、そこで機密文書を訳し続けた。1945年12月29日ロマン・キムは自由の身となり対日本戦勝記章を授与した。

1951年には小説家としてのロマン・キムが「生まれ」、次々にキムのスパイ物小説が出版された。

『切腹した参謀たちは生きている』『広島からきた少女』『特務機関員』『幽霊学校』などだ。また、真珠湾攻撃計画の日本外交暗号がアメリカの諜報機関の手に渡ったことを主題にしたキムの長編小説『読後焼却すべし』は世界的センセーションを引き起こした。

さて、ロマン・キムとは一体誰だったのか。学者か、作家か、スパイか？ クラノフ氏はさらに、次のように語っている。

「私の理解では、彼自身、本物の忍者だった。しかし、それは映画に出てくるような、ぴったりとした黒装束を着て手に中世的な殺人道具を持った忍者ではなく、キムが理解した『忍術とは目くらましの術だ』という言葉のような忍者だ。キムは誰にも自らの人生の真実を語らなかったため（キムは 1967 年 5 月 14 日モスクワで亡くなった）、彼の伝記を再現するのは私たちの役目になる。そしてこれは、正直に言うが、手に汗握る仕事だ。なぜなら彼が書いた最高の探偵小説は、彼自身のたどった人生だからだ。」

<http://bit.ly/21h3g7Y>

第 45 回全国ロシア語コンクールの優勝者は鶴見百英さん

（スプートニク 2016 年 06 月 13 日 10:11 リュドミラ・サーキャン）

写真 1/2 <http://bit.ly/1UpfBX6>

ロシア全土で「ロシアの日」が祝われた 12 日、東京にある東京ロシア語学院で第 45 回全国ロシア語コンクールが開かれた。

同コンクールは 1971 年から毎年開催されており、ロシア語学習者やロシアのことをさらに知りたいと思っている人、またロシア語を使った職業に就きたいと考えている日本人の間で愛され、人気を博している。

5 月 29 日にはコンクールに先駆けて全国 11 会場でロシア語能力検定試験が行なわれ、6 月 7 日にはロシアの国民的詩人プーシキンの詩を朗読する「ロシアの詩の集い」が開かれた。なおコンクールが開かれた 12 日、東京ロシア語学院では、合唱サークルがロシア民謡を歌ったり、バラライカのサークルが演奏したりする催しも開かれた。

コンクールには 25 人が出場した。スピーチのテーマは「私のロシア語」、「ロシアとの思いがけない出会い」、「ロシアが教えてくれたこと」、「私が作家ソローキンを好むことについて」など多岐にわたる。

優勝したのは上智大学 2 年生の鶴見百英さん。鶴見さんは「ロシア民話と自然」についてスピーチした。鶴見さんは、「スプートニク」のインタビューで、他の出場者たちはロシア語能力が高かったため優勝という結果にびっくりしたと述べた。コンクールでは鶴見さんの大きな熱意も評価さ

れたのだ。

また 2007 年に文化・芸術、教育、人文科学、文学の分野における偉大な功績が評価されてロシア政府よりロシア国家賞「プーシキン・メダル」が贈られたプーシキンを専門とする東京ロシア語学院主事の藻利佳彦氏も、コンクールの雰囲気と参加者について「スプートニク」に語ってくださった。

音声 <http://bit.ly/1XhXyUT>

<http://bit.ly/1sB9kNA>

ウィキリークス、ヒラリー・クリントン氏の新たなメールを公開へ

(スプートニク 2016 年 06 月 13 日 15:57)

© Sputnik/ <http://bit.ly/236vdB0>

ウィキリークスはヒラリー・クリントン氏の国務長官時代のメールのやりとりの一部を公表する計画。英ガーディアン紙がウィキリークスの創始者ジュリアン・アサンジ氏の声明を引用して報じた。

アサンジ氏は「我々はヒラリー・クリントン氏に関する漏洩資料の公開を行なう。これは電子メールによる書簡だ」と述べたが、公開の時期については明らかにしていない。

これより前、今年 3 月、ウィキリークスはヒラリー・クリントン氏の国務長官時代に交わされた 3 万 322 通のメールおよび添付資料を公開したばかり。

現在、F B I によってクリントン氏についての捜査が行なわれており、同氏が機密情報のやりとりに個人メールを利用したことが米連邦法違反になるかどうか問われることになっている。

<http://bit.ly/1XTFAcd>

北朝鮮ハッカー、韓国の 14 万台のコンピューターに侵入

(スプートニク 2016 年 06 月 13 日 16:54)

© Fotolia/ Feng Yu <http://bit.ly/1UQ7Mp2>

朝鮮民主主義共和国のハッカーが韓国の 160 の大企業のコンピューター 14 万台をウィルスに感染させた。韓国警視庁が明らかにした。「北朝鮮は国家への大規模なサイバー攻撃を行おうと長期に渡って準備作業を行っていた模様。」リア・ノーヴォスチ通信が警視庁内の消息筋の情報として伝え

た。

ハッカーらは4万2千通のファイルにアクセスし、情報を盗んだ。その中には戦闘機F-15に関する情報も含まれている。これについて軍部は重要な軍事機密情報は漏洩していないとの見解を表している。

<http://bit.ly/1Uh30E6>

サウジアラビア 世界の武器市場の記録的成長をあおる

(スプートニク 2016年06月13日 17:50)

© Flickr/ Mickey <http://bit.ly/1UrLrCx>

2015年の世界の武器市場は、サウジアラビアの武器購入額が増加したため、過去10年で最高の成長となった。IHS社の報告書Global Defense Trade Reportで述べられている。2015年の市場は前年584億ドルだったのに対し、650万ドルに達した。2015年、サウジアラビアの武器購入額は93億ドルに増えた。ブルームバーグが伝えた。ブルームバーグは、サウジアラビアの武器購入額の急増はイエメン紛争への参加によるものであり、この事実などにより、報告書によると、2015年の全世界の武器販売規模は10%増加したという。サウジアラビアの武器輸入額は2015年、前年比50%増で世界1位となった。

<http://bit.ly/1PZIYzf>

オーストリア、ヒトラーの生家を撤去へ

(スプートニク 2016年06月13日 18:14)

© Fotolia/ Kristina Afanasyeva <http://bit.ly/1U6hDHT>

オーストリアのソボトカ内相はヒトラーの生家の撤去を検討している。AP通信が地元マスコミの報道を引用して報じた。これまでオーストリア内務省は「ナチズムの目的」で住居が使用されることないように、家の所有者から買い取る意向を表していた。ソボトカ内相は「撤去は最も完璧なソリューションだと思う」と述べる一方でオーストリア政権が家の買取を試みているものの、「今のところ、成果はえられていない」と明かした。話題の家はブラウナウ・アム・イン市にある3階建ての住居でポメル家が所有している。この家で1889年、ヒトラーが誕生した。建物は長い間学校として使われたあと、市の図書館となり、現在は障害者のための工房センターとして使用されている。

<http://bit.ly/1Ynylrb>

英国のEU離脱は7年かかる

(スプートニク 2016年06月13日 19:04)

© AP Photo/ Virginia Mayo <http://bit.ly/1Vrl0mG>

欧州委員会トゥスク委員長は、英国のEU離脱は投票から実際に国がこの組織から離れるまでをあわせると7年以上はかかるとの見解を明らかにした。トゥスク委員長は独ビルド紙からのインタビューに答えたなかで、英国が最終的な決定を採択するまでに2年、その後、肯定的な決定が出た場合は離脱のプロセスそのものが開始される事を指摘。「EU加盟国27カ国も欧州委員会も最終的な結果を承認せねばならない。これにはどうしても5年はかかるだろうし、それが成功するという100%の保障は残念ながらない」。英国のEU離脱を問う国民投票は6月23日に実施。

<http://bit.ly/1XTGgOD>

韓国 ロシアとの協力発展に期待

(スプートニク 2016年06月13日 19:57)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://bit.ly/1XmCj42>

韓国は、外相レベルによるロシアとの協議結果に基づく一連の分野における協力発展に期待している。韓国のユン外相が、ロシアのラヴロフ外相との会談のオープニングで述べた。ユン外相は、次のように語った—

「我々は、貿易、農業、工業、漁業、そして様々な新たな分野での協力に期待している…私たちは、気候変動などの様々なグローバルな問題における我々の協力を非常に肯定的に評価している。我々は、モスクワでの本日の我々の会談が、私たちの戦略的パートナーシップをさらに強化し、さらに一つレベルアップさせることに期待している。」

ユン外相はまた、「北朝鮮による様々な核実験の結果もたらされた韓国とロシアの協力を非常に肯定的」に評価していると述べた。

<http://bit.ly/1WMeyCK>

ドイツ ドンバス人道支援プロジェクトにさらに6万ユーロ拠出へ

(スプートニク 2016年06月13日 20:21)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://bit.ly/1txsowM>

ドイツ連邦政府は、国連食糧農業機関（FAO）が実施している人道援助プログラム「ウクライ

ナ東部の紛争で被害を受けた民間人への緊急支援」の支援費として、さらに 600 万ユーロを拠出する。在ウクライナ・ドイツ大使館は 14 日、「F A O はウクライナ東部での活動を今年および来年も続けるために次なる 600 万ユーロを提供する」と発表した。なお大使館によると、ドイツは 2015 年、450 万ユーロを提供して FAO のウクライナにおける人道活動を支援した。紛争開始以来、F A O のプロジェクトの枠内でウクライナ東部ではすでに 65 万人に支援が施された。

<http://bit.ly/1UQaDhM>

ロシアの T E N E X、福島第一原発処理に助力へ

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 14:57)

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi <http://bit.ly/1XmCNav>

ロシアの原子力国家コーポレーション「ロスアトム」の傘下の T E N E X 社はこれから「バックエンド」事業という新たな方向性を打ち出していく。「バックエンド」とは原子力施設の廃炉に取り組む作業だ。

フォーラム「アトムエクスポ 2016」に参加した同社のリュドミラ・ザリムスカヤ代表取締役はスプートニクからのインタビューに次のように語っている。

スプートニク：専門家らの間からは世界最大の原子力施設でその使用停止に著しい尽力と非標準的なアプローチが要求されるのがまさに日本の福島原発だという指摘が挙げられている。日本側は福島第 1 原発の使用停止作業に T E N E X の参加の可能性を検討しているだろうか？

ザリムスカヤ代表取締役：「ロシア人専門家らは原子力部門で原子力施設のバックエンドで使用済み核燃料、放射性物質の問題解決や放射能汚染地域の除染など、おびただしい数の複雑な事例に 70 年間取り組んできた。

マヤーク核技術施設（チェリャービンスク州）やチェルノブイリ原発の事故後の処理作業、国防関連核施設の復旧、原子力潜水艦の解体作業の規模を思い起こすだけでそれは十分理解できると思う。こうした課題を解決するために莫大なリソースが使われたが、その結果、ロシアには稀有な経験が蓄積された。

これらの経験を、残念ながら福島原発事故後の数年間、日本側はあまり必要としてこなかった。そのために今日、彼らには非効果的な解決を行なった結果生じてしまった問題を取り除くために、図りしれないほど多大な努力が要されている。

これは破壊された原子炉の冷却水の除染にも汚染土壌にも関係してくる。ロシア人専門家らはこれらを見通しており、日本側に対し、最も困難な問題についても事故後の災害処理者らがようやく今取り組み始めた、破壊燃料の除去、莫大な量の標準外の放射性廃棄物の扱いなど問題についても

技術上のソリューションを提案している。

T E N E Xはこの分野におけるロシア、日本の企業間の対話に積極的に参加している。2015 年 11 月、我々は東京でロシアのバックエンド技術に関するセミナーをロシアのリーダー格の専門家らを参加させて行い、これが日本側の大きな関心を惹いた。今日、具体的問題、施設に関する交渉が形作られており、事例ごとの交渉が準備されている。ロシアの経験は日本人専門家が目前に立ちただかる月並みではない問題を解決する上で必ずや必要になってくるはずだ。」

<http://bit.ly/28AIZzK>

5月のOPEC産油量 日量 10 万バレル減少

(スプートニク 2016 年 06 月 13 日 23:08)

© Sputnik/ В и т а л и й Т и м к и в <http://bit.ly/1VWyoKk>

5 月の石油輸出国機構（O P E C）の産油量は、4 月と比べて 10 万バレル減少し、日量 3,236 万バレルとなった。O P E C の 6 月月報の中で述べられている。なお O P E C は、正式に日量 3,000 バレルと割り当てられている産油量を超過し続けている。

報告書では、「産油量は主にクウェート、イラン、サウジアラビアで増加し、ナイジェリア、ベネズエラ、イラクでは減少した」と述べられている。

O P E C の専門家らは、OPEC 産原油に対する 2016 年の需要は日量 180 万バレル増加して 3,150 万バレルになると予測している。O P E C によると、2015 年の O P E C 産原油需要は、日量 2,970 万バレルだった。

<http://bit.ly/25UmQxA>

欧州議会議員 ロシア情報機関の指導者らに対する制裁解除を求める

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 00:42)

© Sputnik/ <http://bit.ly/1U6kRLJ>

欧州人民党の欧州議会議員のグループが、ロシア連邦保安庁（F S B）のアレクサンドル・ノルトニコフ長官と、ロシア対外情報庁（C V R）のミハイル・フラトコフ長官に対する制裁解除を求めている。

議員らは、両氏に対する渡航制限はテロ対策を行う際の安全保障上のリスクを生み出すと考えている。制裁解除を呼びかけた公開書簡には、議員 12 人が署名している。書簡はインディペンデント

紙に掲載された。

議員らは、「パリとブリュッセルでのテロは、EU内でさえも協力が最高の状態から程遠いことを私たちに気付かせた。もし我々が同分野におけるロシアとの協力を弱め続けたならば、私たちは我々の国々の国民を危険にさらすことになる」と指摘している。

<http://bit.ly/1XmDErA>

トランプ氏 モスク検査の開始を助言する

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 02:21)

© REUTERS/ Ben Brewer <http://bit.ly/1NZBp76>

米大統領選で共和党の指名獲得を確実にしたドナルド・トランプ氏は、テレビ局フォックス&フレンズのインタビューで、米国にある全てのモスクを検査する必要があると述べた。サイト Awards by Trendolizer に掲載された。

トランプ氏は、「我々はモスクの検査について非常に毅然とした態度を示す必要がある」との考えを示し、「それについて大勢の人が、私たちはしたくない、私たちはそれを望まない！私たちはしない、と言ったとしてもだ」と述べた。

またトランプ氏は、「みなさんは、彼（12 日に米フロリダ州オーランドで銃を乱射した容疑者）のことを知っていた大勢の人たちが、彼は頭がおかしい、何かそのようなことが起こるかもしれないと感じていたことを発見するでしょう。彼のことを知っていた元妻や他の人たちは彼について話さなかった。何らかの理由から、イスラム教徒のコミュニティは、このような人たちのことを明かさないのだ」と語った。

<http://bit.ly/1Uanq4G>

ロシアと韓国、北朝鮮の核保有国の地位は承認せず

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 03:50)

© Sputnik/ Kirill Kallinikov <http://bit.ly/25ZlGgH>

ロシアのラヴロフ外相は韓国の尹 炳世（ユン・ビョンセ）外相との会談を総括した記者会見を開き、ロシアと韓国は朝鮮民主主義人民共和国の自称する核保有国としての地位を認めないことを明らかにした。ヴェスの電子版が報じた。

ラヴロフ外相は「我々は両国が朝鮮半島の非核化という課題に忠実であることを確認し、これに

関連してロシアと韓国は朝鮮民主主義人民共和国が自称する核保有国としての地位を認めない。我々は北朝鮮へ作用するという意味で国連安保決議2270の意味を強調し、その完全な遂行に務める」と述べた。

<http://bit.ly/1Uao0zj>

ロシアのインターネット、世界第3位の安定性を認定される

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 06:38)

◎ 写真: Pixabay <http://bit.ly/1ZN9NXz>

ロシアのインターネットセグメント「ルネット」は世界各国のインターネットセグメントの中で不具合に対する安定性が第3位であると認定された。Orator Labs の調査をコメルサントが伝えた。

その国の最重要業者に連動する形で各国セグメントの安定性が評価された。最高は英国で、米国がこれに続いた。「市場の成熟度が高く、多様化の程度が大きく、特に、より多くの中規模事業者が国境を越えた転送へのアクセス権を持っていればいるほど、国セグメント全体の安定性も高い」。Orator Labs のアレクサンダー・リャミン氏が述べた。

<http://bit.ly/1VWBNJ0>

NATO事務総長、今年の軍事費は30億ドル増

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 08:03)

◎ REUTERS/ Yves Herman <http://bit.ly/24PFtjd>

NATOのストルテンベルグ事務総長は2016年度の軍事費は30億ドル上回ることを明らかにした。「2016年の今後の軍事費は試算では拡大している。毎年の実際の支出増は1.5%近くでこれは30億ドルを越える。」リアーノーヴォスチ通信がストルテンベルグ事務総長の声明を引用して報じた。

<http://bit.ly/1UMUnkr>

イラン 米国の20億ドル返却拒否を受け国連司法裁判所に訴訟へ

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 11:39)

◎ AFP 2016/ Carlos Barria <http://bit.ly/1St5iAQ>

イラン当局は、凍結されたイランの資産20億ドルを米国がイランに返却するのを拒否したことを

受け、国連司法裁判所に米国に対する訴訟を起こす準備を整えた。イランのザリフ外相が発表した。

外相は、「我々は、イランの財産が横領されたことに対抗するために必要な措置を全て講じた。イラン政府は近日中にも国連司法裁判所に米国に対する訴訟を起こす」と述べた。

イラン議会は、対イラン制裁に対する補償を米国から受け取る義務をイラン政府に負わせた。

先に米最高裁判所は、凍結したイランの資産 20 億ドルをイラン中央銀行に返却するのを拒否した。

<http://bit.ly/1UaoIws>

原油価格 英国のEU離脱の懸念から下落

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 14:37)

© AFP 2016/ Ben Stansall <http://bit.ly/10x4d5b>

世界の原油価格は、英国の国民投票（ブレグジット）の結果、この国がEU離脱を選択するのではないかと懸念から、下落している。この事は、原油取引のデータが裏付けている。

モスクワ時間で朝 7 時 53 分（日本時間で 13 時 53 分）の時点で、ブレント原油価格は、8 月先物取引で 0.79% 下がり、1 バレル＝49.95 \$ となった。またWTI（米国産標準油種）の価格も、7 月先物取引で 0.90% 下がり、1 バレル＝48.44 \$ となった。

月曜日伝えられたところでは、EUからの英国の離脱を支持する人たちの割合が増え、53%に達した。一方、EU残留を支持する人達の割合は、47%で、その差は6%に開いた。英国がEUから離脱すれば、EU経済に否定的影響を及ぼす可能性があり、そうした懸念が、石油需要の減少をもたらすのではないかと心配されている。

<http://bit.ly/236C4du>

ドイツ企業「アルマータ」に対抗する大砲を開発

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 17:05)

◎ 写真: Ministry of Defence of the Russian Federation <http://bit.ly/1UT2v06>

ドイツの軍事コンツェルン「Rheinmetall Defence」は、主にロシアの最新鋭戦車T-14「アルマータ」及びT-90 新改良型戦車との戦闘用に用いる新しい大砲の試作品を、軍事見本市「Eurosat-2016」で展示した。英国の軍事分析出版社「Jane's」が伝えた。

大砲は 130 ミリ滑腔砲（かっこうほう）で、砲身内にライフリング（旋条）が無く、重さは 3 トン。マズルブレーキ（砲口制退器）が装備されていない砲身の重量は 1,400 キロだ。「Rheinmetall Defence」社は、近く、砲撃テストに着手する計画だ。

<http://bit.ly/1Q2X4Qh>

「ダーイシュ（I S）」パリでの警官殺害を認める

（スプートニク 2016 年 06 月 14 日 17:16）

© REUTERS/ Charles Platiau <http://bit.ly/1HRfk5C>

パリ郊外で人質を取って立てこもった警官殺害犯は、テログループ「ダーイシュ（I S、イスラム国）」のメンバーだった。「ダーイシュ」と関係のあるニュース通信社 Amaq の情報を引用して、BBC が報じた。

BBC が目撃者の証言として伝えるところでは、犯人は、攻撃の際「アッラー・アクバル」と叫んだという。

火曜日、フランスのオランド大統領は、エリゼ宮でこの事件に関する会議を招集する。

報道によれば、パリの郊外で月曜日夕方、警察官が、腹部をナイフで 9 ヶ所刺され亡くなった。犯人は、警察官の自宅前で犯行におよび、彼の家族（妻と息子）を人質にとって立てこもった。

特務部隊 Raid および B I S による急襲作戦決行まで、犯人との対話が試みられたが、失敗に終わった。作戦の結果、犯人は殲滅された。なお人質にされていた警察官の息子は無事救出されたものの、彼の母、つまり殺された警察官の妻を救うことはできなかった。

<http://bit.ly/1YqLD6y>

「ソフト・パワー」の影響力でロシア初の上位 30 入り 一方日本は第 3 位

（スプートニク 2016 年 06 月 14 日 17:39）

© Sputnik/ Alexander Vilf <http://bit.ly/1WYB4XF>

「ソフト・パワー」という基準での影響力で、ロシアは初めて世界の上位 30 カ国入りした。英国の P R 機関 Portland の年次調査の中で、明らかになった。

新聞「コメルサント」によれば、ロシアは初めて、Portland がランク付けする「The Soft Power 30」の中に入った。それによるとロシアは、ハンガリー（26 位）につづいて 27 位だった。なお最下位

30 位はアルゼンチンが占めた。

一方、ランキングの第一位は米国で、英国を凌いでいる。2 位はドイツ、そして 3 位は日本だった。

<http://bit.ly/238Lmpn>

世論調査：欧州人は E U の対ロ政策に賛成していない

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 18:03)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://bit.ly/1PVKpry>

欧州の主要 10 カ国の人々の大多数は、E U の対ロシア政策に賛成していない。米国の調査センター Pew Research Center の専門家達は、そうした結論を出している。

調査対象国は、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ポーランド、オランダ、ハンガリー、ギリシャ、フランスそしてスウェーデンの 10 カ国で、これらの国々の GDP は全体で、E U の 82% に当たり、人口でも 80% を占める。調査は、4 月 4 日から 5 月 12 日まで、およそ 1 万 1,500 人を対象に行われた。

社会学の専門家らは、これら 10 カ国の住民は、ほかの国々との貿易に関する E U の政策に不満を持っている。

特にギリシャでは、調査に参加した人の 89% が、ロシアに対し厳しい対外政策をとる代わりに、強固な経済関係を維持する方が重要だと考えている。一方ハンガリー、ドイツ、イタリアでは、その数字は 54% (イタリア) から 67% (ハンガリー) と控えめだが、やはり半数を超している。

これに対しスウェーデンについて言えば、71% がロシアに対する強硬な E U の政策を支持している。全体の平均では、欧州人は、ロシアとの協力に 48% が賛成し、43% が反対している。

<http://bit.ly/1roVNY7>

N A T O 東部での軍事プレゼンス縮小の条件示す

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 19:45)

© AFP 2016/ Brendan Smialowski <http://bit.ly/1MQlsNP>

N A T O は、もし安全保障に関連した状況が良い方向に変わるならば、東部加盟国における軍事プレゼンスを縮小する用意がある。N A T O の高官が伝えた。N A T O の高官は、匿名を条件に記

者団に対し、次のように述べた—

「ロシアに対し、何も向けられてはいない。我々がしていることは、我々の周囲で見られることに対する答えである。私が言及したすべては、挑発的なものとみなされないよう、防衛上またバランス上、特別に釣り合いのとれたもので、もし我々をめぐる状況が、大きな安全と確信を与えるようになれば、そうした措置を縮小するよう、特別に組み立てられたものである。」

ロシアはこれまでたびたび、「ロシア脅威論などでっちあげであり、不条理である」とし、米国の兵器の欧州配備に関する自身の立場を表明してきた。

<http://bit.ly/1YqMrZ9>

欧米で対ロシア制裁について意見が分かれる

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 20:03)

© AP Photo/ Anadolu Agency <http://bit.ly/1UyrvK3>

世論調査「スプートニク・オピニオン」によると、欧州の住民の 47%が、2016 年 6 月に対ロシア制裁を解除することを支持していることが分かった。世論調査は、調査会社 Ifop と英国の調査会社 Populus が「スプートニク」の依頼で実施した。イタリアでは住民の 51%、ドイツでは 48%、フランスでは 43%が、今年 6 月に対ロシア制裁を解除することを支持している。なお米国で対ロシア制裁の解除を支持した住民は、わずか 29%だった。

世論調査の結果、対ロシア制裁の延長を誰よりも望んでいるのは米国の住民であることが分かった。「対ロシア制裁を 2016 年 6 月に解除する必要があるか、それとも延長する必要があるか？」との質問に、米国の住民 42 パーセントが、「延長する必要がある」と答えた。なおドイツでは 31%、フランスでは 29%、イタリアでは 27%が「延長」を支持した。また「分からない」と答えたのは、ドイツの住民 21%、イタリア 22%、フランス 28%、米国 29%だった。

<http://bit.ly/1Q31jLz>

マスコミ：「ダーイシュ（IS）」の指導者 空爆で死亡

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 21:21)

© AP Photo/ Militant video, File <http://bit.ly/1PsXUjA>

テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の指導者アブ・バクル・アル・バグダディ容疑者が、米国主導の対テロ有志連合による空爆で死亡したと報じられた。英ミラー紙によると、「ダーイシュ」の指導者は 6 月 10 日にシリア北部ラッカへの空爆で死亡したという。なお別の複数のマス

コミは、バグダディ容疑者はイラクのモスルで死亡したと報じている。またイラクのあるテレビ局は 10 日、イラクとトルコの国境付近での空爆でバグダディ容疑者とその仲間が負傷したと伝えた。なお米主導の国際有志連合は、同情報を確認することができなかった。

<http://bit.ly/1UbCuiq>

エルドアン大統領 プーチン大統領に電報を送る

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 22:01)

© AP Photo/ <http://bit.ly/10ogbDN>

トルコのエルドアン大統領が、ロシアのプーチン大統領に電報を送った。エルドアン大統領は電報で、6 月 12 日の「ロシアの日」を受けてロシア国民を祝福した。リア・ノーヴォスチ通信が伝えた。電報では次のように述べられている—

「尊敬する大統領閣下！『ロシアの日』を受け、全トルコ国民の名において、あなたに代表される全てのロシア人を祝福し、また今後ロシアとトルコの関係がしかるべきレベルに達することを願っております。」

トルコのエルドゥルム首相もメドヴェージェフ首相に書簡を送り、今後の協力、そして両国関係が「両国国民の共通の利益にとって必要なレベルに達する」ことに期待を表した。

<http://bit.ly/1Uys4DF>

日本のロシア産エネルギー依存率はまだまだ続く

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 22:58 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Stringer <http://bit.ly/1jkDuiH>

日本政府は北海道、島根、山口の 1 道 3 県の沿岸部でのガス田探査を開始する。だが今のところロシアのエネルギー輸出業者らに憂慮の必要はない。

最終的な作業計画は 2017 年 1 月までに準備が終わる。だが現在の段階ですでに最新設備を積んだ日本の調査船は少なくとも 2 万平方キロメートル分の大陸棚の調査を行わねばならない。この調査には民間企業も加わる。このほか政府はガス田の有無を調べるためにすでに採取された 4 万 3 千平方キロの大陸棚のデータを分析するための特別ソフト開発も行う構えだ。世界経済大学の日本専門家、エレナ・レオンチエヴァ氏はそれでも早い成果は期待しないほうがいいとして、次のように語っている。

「日本はかなり前からエネルギーの輸入依存度を下げる可能性を探っている。輸入されるエネルギーは石油や液化天然ガスであり、輸送方法はパイプラインではなくタンカーだ。タンカーはあらゆる港湾都市に配置されているターミナル港へと入ってくる。エネルギー資源の価格が急落したとはいえ、これは日本にはかなり高額につく。このため日本は北海道や他の数島の周辺に溜まったメタンを使う可能性を探っているのだ。

今のところたいした成果は上がっていない。なぜならこうした冷凍メタンを掘り出すのはかなり高額につくからだ。だが日本はこの試みを止めようとはしていない。それはどんな方法をつかって輸入依存率を下げるためにこうしたエネルギー資源を採掘する方法を探りたいからだ。調査はすでに5年にわたっている。

日本はこのメソッドに真剣に的を絞っている。それは日本の石炭はもう掘りつくされて残されていないからだ。大体日本の地下には砂以外全くこれといった鉱物はない。しかも日本の原子力エネルギーもほぼ凍結状態で数箇所ですみずみで再稼働が試みられたが、近い将来、原子力が日本で決定的な意味を持つことはないだろう。」

レオンチエヴァ氏はエネルギー採取の代替メソッドが実際の成果を上げるとしても、それはかなり先の話だと指摘している。ということは日本政府の北海道、島根、山口県沿岸でのガス田探査というイニシアチブはロシア産エネルギーの対日本供給には全く影響を及ぼさない。

<http://bit.ly/1tpQ85u>

オランダ銃乱射事件 容疑者の元妻 彼は同性愛者だったと語る

(スプートニク 2016 年 06 月 14 日 23:56)

© REUTERS/ Omar Mateen via Myspace/Handout <http://bit.ly/21lt0zU>

米フロリダ州オランダのゲイ・ナイトクラブ「パルス (Pulse)」で銃乱射事件を起こしたオマル・マティーン容疑者は、同性愛の性的指向を持っていた。ニューヨーク・ポスト紙が、マティーン容疑者の元妻がブラジルのテレビ局のインタビューで語った話を引用して伝えた。

元妻のシトラ・ユスフィーさんは、2009 年に3ヶ月間マティーン容疑者と結婚していた。ユスフィーさんの現在の婚約者マルコ・ディアスさんは、花嫁のユスフィーさんに代わり、ユスフィーさんが、マティーン容疑者には同性愛の性的指向があったと考えており、容疑者の父親がユスフィーさんの前で容疑者のことを同性愛者と呼んでいたことを伝えた。

またディアスさんは、「米連邦捜査局 (FBI) が、このことを米国のマスコミには語らないよう彼女 (ユスフィーさん) に頼んだ」と述べた。

警察学校時代の同級生も、マティーン容疑者の同性愛についてマスコミに語っている。同級生は、

マティーン容疑者と他の同級生らが一緒に時間を過ごし、警察学校の授業の後で時々ゲイクラブに行っていたと語った。

<http://bit.ly/23807Hn>

ロシア、極東ビジネスへ日本を上手に手招き

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 00:28 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ V.Nemirovskiy <http://bit.ly/1tpRo8F>

ロシア極東は日本により近いと、我々はこの地域での日本ビジネスの発展に大きな期待を寄せている。経団連・日本ロシア経済委員会の朝田照男委員長（丸紅会長）は先日、モスクワで行われたアレクサンドル・ガルシカ極東発展相との会談の目的をこのように意味づけた。

会談でロシア側は極東への日本の投資に関心を表し、日本のビジネスに積極的な支援を行う構えを表した。ロシア政権はリスク減、投資の収益率UPに尽力している。これにはルーブル安も一役買っている。

日本のパートナーらにとってロシアとの協力で最も魅力の高いのは農業、港湾インフラ開発、運輸ロジスティクスだ。最初に進出した日本企業はすでに投資の新たな条件を利用し、独自のプロジェクトを始動させている。極東では日本企業と合弁ですでにいくつかの投資プロジェクトが実現化されている。その数例を挙げるとウラジオストク自由港の枠内での積み替え用特殊施設（投資額は約 10 億ドル）、住友商事による沿海地方の材木加工工場の稼働（投資額はおよそ 40 億ルーブル）、サハ（ヤクート）共和国の先進発展領域（TOR）「カンガラシ産業パーク」内での緑黄野菜の通年栽培用温室の建設、そしてTOR「ハバロフスク」への投資した日露合弁企業JGCエヴァーグリーンの温室がある。

日本企業は海産物の保存、加工の経験も分かち合う構え。冷凍冷蔵設備で有名な前川製作所の田中嘉郎代表取締役社長も会談でカムチャッカ、サハリン、沿海地方に冷却用の最新のインフラを作ることへの関心を示した。日本人はまた極東のロシア冷凍艦隊の刷新にも参加する構えだ。

ガルシカ極東発展相は日本側に対し国際運輸回廊の創設への参加を呼びかけた。この回廊は年間 4,500 万トン以上の貨物輸送を見込んでおり、ガルシカ極東発展相はプロジェクトへの投資利息は少なく見積もっても年間 10%になると語っている。

日本ロシア経済委員会交通運輸分科会のハシモト・タケシ会表によれば、日本では質の高い石炭の需要が非常に高いと、日本実業界の代表らはヤクート産石炭の輸出用に極東の港湾ターミナルの発展、設備に投資の可能性を検討する構え。

さらにもうひとつ、日本のパートナーらが参加の意向を表したプロジェクトは北極海航路を使っ

た液化天然ガスの輸送だ。この回廊は将来、世界の主たる輸送回廊になるチャンスを秘めている。

外国人投資家にはロシアでの様々なプロジェクトへの投資の評価が難しいことがままある。だが今回は日本ロシア経済委員会極東分科会の田渕 正朗会長も指摘したように、ロシア側は日本側にただちに I R R など、重要な経済指標を提出した。田渕氏はこうした指標のおかげで日本側はロシアの提案をより迅速に検討し、決定を出すことができると語っている。

<http://bit.ly/1XouVfu>

クリル列島中部マトゥア島に残る旧日本軍の飛行場 ロシアのヘリ・ポートに

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 00:45)

© Sputnik/ Roman Denisov <http://bit.ly/1YqfRGL>

ロシア極東クリル列島中部マトゥア島（松輪島）で、第二次世界大戦中の旧日本軍の飛行場の再建作業が進められている。飛行場は、再建のため国防省の専門班が特別に本土から持ち込んだ建設技術の助けを借りて、きれいに片づけられつつある。かつて日本軍の航空機が置かれていた場所には、ヘリコプターの 3 つの発着所が作られる。

マトゥア島には当時、日本帝国の空軍基地があり、米軍機がしばしば爆撃した。そのため飛行場には、65 の砲弾や爆弾が着弾し、多くの漏斗状の穴があちこちに今も残されている。ロシア国防省マトゥア遠征隊の目的は、もう長い間無人島になっている島のインフラの再建だ。

旧日本軍の飛行場はヘリ・ポートになるが、遠征隊の責任者ヴィタリイ・カネフスキイ氏によれば、飛行場のセメントの厚さは 12 センチで、ヘリコプターの離発着を保証するために十分なもの、とのことだ。

twitter.com/ <http://bit.ly/1tpR21V>

<http://bit.ly/1PsYvC2>

ミサイルシステム S-400 と S-500 が「見えなくなる」

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 02:27)

© AFP 2016/ KIRILL KUDRYAVTSEV <http://bit.ly/10ogChr>

ロシア国防省は、地対空ミサイルシステム S-400 と S-500 に、敵の航空偵察の検出技術から守る「見えないコンテナ」を装備する計画。イズヴェスチヤ紙が報じた。軍当局者は、「今年我々は、特に S-500 を含む最新の地対空ミサイルやミサイル防衛システム用のコンテナを受け取る計画だ」

と語った。イズヴェスチヤ紙が伝えた。

ロシア国防省は、数年前から最新機器の開発に取り組んでいる。消息筋は、現在コンテナの一部が量産されており、残りはテストが行われる予定だと指摘した。新たなコンテナのボディーの内側は特殊コーティングされており、電磁放射の拡散を防止する装置も入っている。また消息筋によると、複数のコンテナには、人も入ることができるという。

<http://bit.ly/1YqQepk>

オバマ大統領 新たな米国防予算案に拒否権発動へ

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 03:36)

© Sputnik/ Sergey Guneev <http://bit.ly/1MUABge>

14 日、米上院は 6,020 億ドル規模の 2017 年会計度の国防予算案を承認した。採決では、上院議員 85 人が賛成、13 人が反対した（上院議員は 100 人）。なおホワイトハウスは、予算案を受け取った場合、オバマ大統領は拒否権を発動すると発表した。文書に対する主なクレームの一つは、テロ組織「ダーイシュ（I S、イスラム国）」などに対する「現在の軍事作戦」をサポートするための十分な資金が見込まれていないこととされている。

<http://bit.ly/1Pt0k1P>

露国防相「松輪島で日本の化学物質製造ラボはなかった」

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 04:30)

© Sputnik/ Roman Denisov <http://bit.ly/1tbbbZk>

ロシア国防相とロシア地理学協会による調査隊は、クリル諸島の一つ松輪島で化学物質を見つけなかったと、ロシア東部軍管区広報サービス部長アレクサンドル・ゴルデーエフ氏は記者団に発表し、こう述べた。

「ロシア国防相とロシア地理学協会による調査隊は、化学物質製造研究所の有無を調べるため、旧日本軍の司令官官舎を調査した。調査の結果、松輪島にはいかなる倉庫や研究所、保管所また毒物の精製所は存在しない。人体の活動に危険を及ぼすいかなる物質も病原体も発見されなかった。」

<http://bit.ly/1UiRyaN>

日本 石炭輸入のために極東の港へ投資する構え

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 06:50)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <http://bit.ly/1SUBBu6>

ロシアのガルシカ極東開発相と、日本経済団体連合会日本ロシア経済委員会の朝田照男委員長の会談が行われ、日本側は極東への投資と、ロシア産石炭の輸入に関心があることを認めた。日本は、ヤクートの石炭を輸入するための極東の港のターミナルの開発および装備、北極海航路による液化天然ガス（LNG）の輸送組織に投資する可能性を検討している。

ガルシカ極東開発相は、日本側との協力に関心を持つロシアの団体や企業の代表者とのコンタクト確立に極東開発省が協力する用意があると伝えた。また両氏の会談では、極東のインフラ近代化に関する共同投資プロジェクトについても話し合われた。

<http://bit.ly/1roZ7SZ>

フランス シリアに軍事基地を建設

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 12:22)

© AFP 2016/ Mohamad Abazeed <http://bit.ly/1Q38G5P>

フランスは、テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」との戦いの枠内で、シリア北部のコバニに軍事基地を建設し、クルド人自衛部隊も含め「シリア民主軍（SDF）」のための軍事コンサルティングを行う考えだ。そのために、2週間前すでに、コバニに向け 170 人のフランス軍人が派遣された。

「シリア民主軍」の代表者から得た情報によれば、フランス兵らは、ラッカとトルコを結ぶ補給路に位置するマンビジュ解放作戦開始の数日前に米国軍人と共に、コバニに到着したが、安全上の観点から、フランス兵の到着に関する情報は、御国にされていた。なおフランスは、コバニに軍事基地を県セルする意向である。

<http://bit.ly/10ohW43>

H I V 流行がモスルの「ダーイシュ」戦闘員を襲う

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 12:23)

© REUTERS/ Stringer <http://bit.ly/1Qk12PZ>

イラク北部モスルのイブンシーナ病院の病室が、H I Vに感染したテロ組織「ダーイシュ（IS、

イスラム国)」のメンバーで溢れかえり始めた。匿名を希望するモスルの病院の消息筋が通信社「スプートニク」に語ったところによると、現在イブンシーナ病院の病室には 23 人の H I V 感染者がおり、全員「ダーイシュ」のメンバーだという。

消息筋によると、約 1 年前の 2015 年 8 月 23 日のデータでは、アジア出身の戦闘員 3 人が病院を訪れている。だが現在、検査に訪れ、自身の血液中に H I V 抗体が検出された戦闘員は 23 人となった。消息筋は、「『ダーイシュ』はイブンシーナ病院の職員にエイズに感染している傭兵たちが寝ている病室に入るのを禁止している。傭兵の大部分はアジアの人たちだ。彼らのもとには『ダーイシュ』と仕事をしている雇われた外国人の医師たちが通っている」と語った。

<http://bit.ly/1tvnLU4>

米国 追加の軍艦を東アジアに派遣

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 15:04)

© Flickr/ Official U.S. Navy Page <http://bit.ly/1Mytz01>

米国は、様々な使命を遂行するため、東アジア沿岸に追加の軍事艦船を派遣する考えだ。ロイター通信が、消息筋の情報として伝えた。消息筋は、艦船移動の目的や期限について詳しいことには言及しなかった。

ロシア戦略・国際研究センターのエキスパート、グREG・ポリング氏は「米海軍艦船の追加派遣は、東アジアでの均衡確立に向けたオバマ大統領の計画の一環である」との見方を示している。中国及び、日本、ベトナムそしてフィリピンなどほかの国々の間には、南及び東シナ海の境界線や排他的経済水域について、意見の対立が存在する。

2013 年 11 月、中国政府は、島々の領有をめぐり意見が分かれているこの区域に、防空識別圏を一方的に設け問題となった。中国は、このゾーンを通過する航空機に対し、ルートや無線周波数について事前に中国側に報告するよう求めている。

一方米当局は、南シナ海の軍事化を図っているとして定期的に中国を非難している。その際米政府は「国際法によって許された区域であればどこでも、飛行し航海し行動する」権利が自分達にはあると強く主張している。なお米中双方は、この区域での軍事プレゼンスを定期的にデモンストレーションしている。

すでに今年 4 月、米国はこの海域に水雷艇 USS Spruance と USS Momsen. を派遣済みだ。

<http://bit.ly/1sHbfjv>

政府はロシアをオフショアに様変わりさせる可能性がある

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 21:25)

© Fotolia/ Lenetsnikolai <http://bit.ly/10Hwn1S>

ロシアのトルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表は、ウラジオストク自由港監査役会の会合を総括し、ロシアに「オフショア・ゾーン」の創設を許可した。トルトネフ氏は、次のように語った—

「オフショア領域の実践は、世界中に存在している。もし他の国々が、税制上の優遇措置を提供する方法で税ポテンシャルを移すことが可能だと考えているならば、ロシアでも同じことに取り組むことが可能だ。」

なおトルトネフ氏は、極東にある自由港と先行発展領域（TOR）は、オフショアではないと指摘した。

メドヴェージェフ首相は2013年、ロシアにオフショア・ゾーンを創設する案を発表した。メドヴェージェフ首相は、「極東になんらかの（特別）ゾーンを創設することが可能だ。我々には、サハリンやクリルなど、よい場所がたくさんある」と述べ、これが他のオフショア市場からロシアの資金が戻ってくる助けとなる可能性があると指摘した。

<http://bit.ly/10rahC7>

NATO ロシアの抜き打ち演習に驚く

(スプートニク 2016 年 06 月 15 日 21:38)

© REUTERS/ Kacper Pempel <http://bit.ly/26lLoNt>

NATOのストルテンベルグ事務総長は、ロシア軍の新たな抜き打ち演習に関する情報にコメントした。事務総長は演習について、ロシアとNATO関係の透明性と予見可能性をそこねると述べた。先に、ロシアのプーチン大統領が、ロシア軍の大規模検査を実施するよう指示を出したと伝えられた。

ロシアでは2013年に軍の戦闘即応状態に関する抜き打ち検査が再開された。一連の抜き打ち検査では、数千人の軍人、様々なクラスの数千の軍用車両や、海軍、空軍などが参加する即応・戦略レベルに関する大規模演習が行なわれている。

<http://bit.ly/1YsACKS>

「ダーイシュ（ＩＳ）」に最終警告 ビラ散布

(スプートニク 2016 年 06 月 16 日 09:17)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://bit.ly/1UW2BE4>

シリア軍とその同盟勢力は、ロシア航空宇宙軍とシリア空軍の支援を受け、ラッカ県サウラ市の方
向へ進んだ。消息筋は「スプートニク」に、「シリア軍は戦闘員 15 人とその野戦司令官を一掃し
たほか、軍事車両も破壊した」と語った。シリア空軍は、シリアの軍司令部がテロリストらに投降
を呼びかける最終警告のビラをラッカに散布した。

ビラ © Sputnik/ <http://bit.ly/1W0db6x>

ビラには次のように書かれている：

「戦闘員よ！ 真実の時が訪れた。
世界は急速に変化している。軍がやって来る。
自分で考えろ…待っている時間はない。
躊躇するな、自分の命と未来を守るために速やかに投降しろ。」

ビラ © Sputnik/ <http://bit.ly/264dyvn>

<http://bit.ly/1UA7PW9>